

平成 22 年梅雨期における大雨災害の被害状況調査＜発災1か月後＞  
—岐阜県可児市・八百津町 7.15 水害—

○可児市兼山地区の土砂崩れ



○矢戸橋の落橋箇所



○八百津町野上の土砂崩れ（3人死亡）

【発生日時】：平成 22 年 7 月 15 日

【発生場所】：岐阜県加茂郡八百津町野上地先

【災害の概要】：梅雨前線の影響により、7月15日から16日にかけて、東海地方を中心に激しい降雨に見舞われた。この豪雨で被害箇所の裏山が崩れ、木造2階建ての家屋がその土砂に埋められた。被害者は70台夫婦と41才の長男であった。



全図（上）



調査時の写真（撮影日 8 月 19 日）



近隣住民からの提供写真（撮影日 7 月 1 6 日）

（発災の翌日）

○ 市道50号線の冠水現場と名鉄広見線の高架橋基礎部分の補強工事



ピーク時の  
浸水到達点



○堤防決壊箇所 可児川に架かる J R 太多線の高架橋

